



一宮町長
馬淵 昌也

6月28日、「一宮町Slow for Kids 宣言」を発表いたしました。これは、「一宮町では、通学している子どもたちの姿をみかけたら、車は、ただちに減速し、子どもたちが安全に通学できるように、できるだけゆっくりした速度(目安として20キロ以下)で通り過ぎるように心がけます」というものです。通学時の子どもたちを見かけたら、ドライバーの方々が減速してくださるよう自主的協力をお願いする呼びかけです。義務的なものではなく、罰則も当然ありません。

一宮町は、歴史が古いために、道路が狭く、全ての通学路にガードレールを設置することができません。これを物理的に解決してゆくのは、大変困難です。そこで、自動車で道路を利用する大人たちの意識を高め、行動を改めていただくことで、交通安全効果を高めようというのです。

20キロ以下というのは、高速道路のETCゲート通過時の目安の速度です。この速度であれば、万が一の場合も、被害は軽く済むことが期待されます。

子どもたちを大事にし、その安全を確保することは、今日の私たちが最優先すべき課題です。本宣言は、あくま

で努力目標としての一宮町のローカルルールですが、全国に先駆け一宮町で始めることで、賛同の輪が全国に広がり、大きな実効的効果が得られることを期待しています。

ご存知のとおり、一昨年の6月28日、八街市で通学中の子どもたちの列にトラックが突っ込むという、痛ましい事故がありました。私は、本来、こうした悲しい事故が発生する前に、いかにして子どもたちを守るか、大人がもつと真剣に取り組むべきだったと思います。その大きな悔恨の思いを込めて、本宣言を一宮町において掲げるものです。

一宮町の住民の皆さんをはじめ、一宮町に来訪される方々が、「一宮町Slow for Kids 宣言」に理解を賜り、子どもたちの安心・安全な通学環境を確保すべく、ご賛同・ご協力を賜りますことを心からお願ひ申し上げます。わたたくしごもの町の、かけがえのない子どもたちの安全を、「一緒に守ってゆきましょう！」

なお、このプランは、町内在住の方のご発案で、半年以上の自主的試行を踏まえた上で、町の宣言として発表したものです。発案・試行に携わられた皆さんに感謝と敬意を捧げます。